

訓練事例資料

手引き内で紹介した訓練について実際の事例を示す。

① 立退き避難訓練（水害を想定） 石巻市立鹿妻小学校（宮城県石巻市）

- 鹿妻小学校は、津波の浸水想定範囲内に位置している。2 階まで浸水する可能性があるため屋内の避難は不可能である。
- 学校の職員誘導のもと、近隣の山まで避難する訓練を実施した。
- 避難経路途中の山道は整備が必要であり、歩道の幅が狭いため危険である等の課題が確認された。



写真 1 立退き避難訓練状況写真

出典：石巻市立鹿妻小学校 HP

② 屋内安全確保訓練（水害を想定） ほうりん東野幼稚園（広島県広島市）

- ほうりん東野幼稚園は、大田川の近くに位置しており氾濫範囲のエリア内である。
- 職員誘導のもと園児を上階（4 階ホール）へ避難する訓練を実施した。
- 避難の際の注意点等を職員から園児へ事前に説明した。



写真 2 屋内安全確保訓練状況写真

出典：ほうりん東野幼稚園 HP

③図上訓練（火災を想定） 特別養護老人ホームときわ園（千葉県千葉市）

- BCP 対策の一環として図上訓練を実施した。
- 千葉市緑消防署の指導の下、ときわ園の図面を拡大した模造紙を広げ、利用者に見立てた小さなコマやミニチュアの消火器を配置し、役割分担（タイムキーパー、記録役、利用者役、職員役、火・煙役）を決め、火災発生場所を想定し、避難について確認した。



写真 3 図上訓練状況写真

出典：特別養護老人ホームときわ園 HP

④情報収集・伝達訓練（地震を想定） 藤枝市立総合病院（静岡県藤枝市）

- 政府の主催により、南海トラフ地震を想定した「南海トラフ地震における具体的な応急対策活動に関する計画」等に基づく大規模地震時医療活動に関する実働訓練を実施した。
- 静岡県は訓練実施県（被災県）のひとつと位置づけられ、藤枝市立総合病院は災害拠点病院及び志太榛原医療圏における DMAT 活動拠点本部として訓練を実施した。
- 地震発生後の想定し模擬的に情報収集と情報伝達を実施し、情報のやりとりの履歴はホワイトボードに記載して共有した。



写真 4 情報収集・伝達訓練状況写真

出典：藤枝市立総合病院 HP

⑤現地確認訓練（噴火を想定） 柳沢小中学校（岩手県滝沢市）

- 柳沢小学校は岩手山の融雪型火山泥流の流下範囲内に位置する。
- 噴火後の融雪型火山泥流から緊急退避する際に学校内のどこへ緊急退避するかを学校職員と市職員の合同で現地確認を実施した。



写真 5 現地確認訓練状況写真

出典：集客施設等における噴火時等の避難確保計画作成の取組事例集（第3版）

④設備・備蓄品等の確認訓練（火災・地震を想定） 愛の家グループホームすのまた（岐阜県大垣市）

- 避難訓練とあわせて、施設の備蓄品の確認と使用方法について施設職員で確認した。



写真 6 設備・備蓄品等の確認訓練状況写真

出典：愛の家グループホームすのまた HP